

宇久島の未来へ

～太陽光の恵み・エコアイランドを目指して～

発行人 宇久島みらいエネルギー合同会社
問合せ先 宇久島総合開発株式会社 tel.0959-57-2411



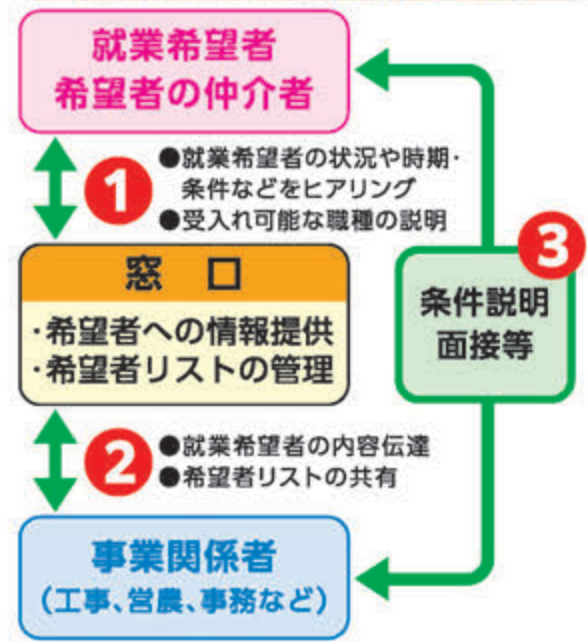
UターンIターン希望者への就労情報の提供窓口の設立を検討しています

最近、島の外に住む出身者や島での生活を希望する方々の雇用に関して、島内の関係者から事業者への問い合わせが増えています。具体的な内容は、「今すぐではなく、一年後に仕事の機会があるでしょうか?」や「力仕事は苦手ですが、何か適した仕事はありますか?」、「週に少し休める日が欲しいです」といった様々な要望が寄せられています。

こうした個別の雇用ニーズに柔軟に対応するため、希望者向けの窓口を設けることを検討しています。これにより、個別の要望や条件に合った仕事の提案や調整が可能になり、島の雇用環境の向上に寄与できると考えています。

具体的な計画が確定次第、皆様に改めてご報告いたします。

就業希望者情報提供窓口(案)



平7地区にて説明会を開催しました

昨年11月27日、30日の2回に分けて、平7地区の皆様にお集まり頂き、事業に関する説明会を実施致しました。ご参加くださいました皆様、誠にありがとうございました。飯良地区から工事を進めて行くこととなります

が、今後、工事に関係する地区につきましては、随時、説明会を開催致します。事故のないよう安全第一で取り組んで参ります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第10回安全防犯等協議会を開催しました

昨年12月19日に宇久地区コミュニティセンターにおいて、第10回宇久島太陽光発電事業に係る安全防犯等協議会を開催しました。協議会では、事業者より今後の工事予定について、平7地区での住民説明会の資料を基に説明を行い、委員の皆様と協議を行いました。協議会での質疑応答につきましては、中面のQ&Aに掲載しております。

今後も、協議や質疑応答の内容について、広報紙等で随時広くご報告して参ります。



第10回安全防犯等協議会の様子

外国人作業員の採用に関するお知らせ

近年の公共事業や半導体工場建設などで工事作業員の不足が深刻化しており、宇久島メガソーラー事業においても同様の状況が発生しています。

工事作業員の雇用に関しては、地域経済への貢献を考慮し、引き続き島内・佐世保在住者に優先的に求人をかけておりますが、雇用難に直面しており、これに対応するために補完的な手段として、一部外国人も含めて

広範な作業員を採用することとしました。なお、採用に際しては就労可能な許可を確認し、九電工所有の施設に宿泊させ、島内での行動についても適切に管理してまいります。

島内の皆様には、この事態によりご迷惑とご心配をおかけすることをお詫び申し上げつつ、ご理解いただければ幸いです。

中面に「メガソーラー事業Q&A」を記載しています。↪

飯良地区から反時計回りに工事を進めます

6つに分けた工区のうち、3工区の飯良地区から工事に着手し、反時計回りに工事を進めていきます。

工事の実施にあたっては、準備工・防災工・伐採工・緑化工を実施した上でその他の工事に着手します。



具体的な工事の進め方▶

太陽光パネル設置に向けて、場内整備を進めています

飯良地区の一部の地域にて、太陽光パネル設置に向けて、場内整備を進めています。

具体的には、太陽光パネルを設置する区画の一部を対象に除草作業を行っています。

太陽光パネルを設置する区画では、今後、沈砂池等の仮設防災設備に関する工事の進捗にあわせて、架台・パネル関連の工事を行う計画です。

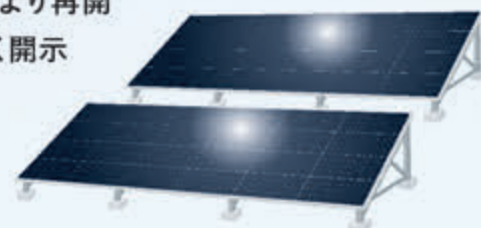


太陽光パネル設置に向けて場内整備(除草)の様子

宇久島みらいエネルギー メガソーラー事業 Q&A

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受けて、これまで中断しておりました各地区の住民の皆さまを対象とした説明会を、昨年後半より再開しています。説明会においてなされた質疑を島民の皆さまに対して広く開示して欲しいというご要望を複数の方から頂きました。

そこで第8号(2022年4月発行)に続き、本号でもQ&A方式にて、これまでに頂いたご質問の一部の回答を掲載させていただきます。



Q 送電計画を鉄塔から送電柱に見直したとのことだが、通常の電柱の2.5倍もある送電柱を建てることについて、景観上の問題はないのか。

A 景観により配慮することを目的に、送電計画を鉄塔から送電柱に見直しています。さらに、送電柱の色についても、大学教授など専門家からアドバイスを頂きながら、景観に配慮した色にする計画です。

Q 工事中に雨水が多い時、それがより低地や海面に汚泥、土砂が流出しない論拠が知りたい。

A 工事期間中は、仮設のしがら柵/やげん緑化水路/沈砂池等を流出する土砂量に応じて適切に設置するよう設計しております。

Q 太陽光パネルの火災について消火対策を知りたい。

A 火災が発生した場合、島内に400箇所以上配置される変電設備に付属する消火器を使用します。なお、追加の消化方法については、引き続き検討して参ります。

Q メガソーラーの事業用地内において、事業期間中、除草剤を使用することはないのか。

A 事業期間中の全てにおいて、除草剤は使用しません。地権者や周辺住民などからご要望があった際には、使用を検討させて頂く場合があります。

Q 井戸水のモニタリングとは、具体的にどの井戸で実施しているのか。

A 現在、浅井戸を中心にモニタリングをしています。簡易水道に繋がっている井戸(深井戸)は、事業者が勝手にモニタリングすることが出来ないこと、そして何等かの影響がある場合、深井戸よりも前に浅井戸に認められるはずであることから、浅井戸を中心にモニタリングをしています。

Q シーパークホテル跡地作業員宿舎付近の海岸は、周辺地区の方や多くの釣人が利用している。宿舎の生活排水が流れても大丈夫なのか。

A 宿舎には合併浄化槽を設置しており、十分に浄化した状態で排水しているため、問題はありません。

Q 工事作業員(反社会的勢力)の採用について

A 反社会的勢力については一切採用せず、入島させないように県警とも連携しながら取り組んでいます。

Q 工事作業員の入島手段について

A 基本、一般船の定期便を利用しますが、盆正月等の帰省時期などは作業員等の人数を調整し、ご迷惑をおかけしないよう配慮致します。

Q 駐車場の利用について

A 以前よりお話があった公共駐車場の利用については、別途、駐車場を整備し使用を控えています。今後も、駐車場が不足することがあれば、増設して対応します。

Q パネルレイアウトをいつでも確認できるようにしてほしい。

A 宇久島総合開発の事務所にて、いつでも閲覧頂ける状態を整えています。閲覧されたい場合は、ご面倒をおかけいたしますが、同事務所までお越し下さい。

Q メガソーラー事業の広報紙等で安全防犯等協議会の内容を周知してほしい。

A 紙面の制約等もありますが、できる限り、安全防犯等協議会における協議内容を盛り込んだ構成にさせていただきます。

Q 反社会的勢力排除対策協議会と安全防犯等協議会は、同様のメンバーで開催するのであれば、統合したほうがよいのではないのか。

A 安全防犯等協議会において、反社会的勢力排除に関する対策も取り組むことで、反社会的勢力排除対策協議会を統合する方向で検討しています。

連絡・相談
窓口

事業に関するご質問、
ご意見等がありましたら
右記までご連絡下さい。

☎0959-57-3880 (九電工事務所) 担当: 重吉(九電工)

☎0959-57-2411 (宇久島総合開発事務所) 担当: 西

